

# 京都写真ビエンナーレ2019

2019年12月11日|水|▶12月15日|日|

10:00-18:00 入場無料/最終日は16:30閉場

京都府京都文化博物館5階

(地下鉄「烏丸御池」駅下車、5番出口から三条通を東へ、徒歩約3分)

専用駐車場はございませんので、公共交通機関にてご来場ください。

京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1 TEL 075-222-0888(代表) 075-222-1771(開錠直通)

<http://www.bunpaku.or.jp/>

第17回

京都

現代

写真

作家展

12月11日[水] 14:00~14:40

ギャラリートーク(木村尚達・佐藤博一) 展示会場内

12月12日[木] 14:00~14:40

ギャラリートーク(小林賢司・神崎順一) 展示会場内

12月13日[金] 14:00~14:40

ギャラリートーク(木村晃造・亀村俊二) 展示会場内

12月14日[土] 10:30~12:00

対談「写真の話、しませんか?」(吉田亮人・梶川由紀) 3階フィルムシアター

12月14日[土] 14:30~15:00

高校生作品講評 展示会場内

12月15日[日] 13:00~

授賞式/ギャラリートーク(審査員・受賞者) 展示会場内

京都府では写真芸術の振興を図るために、1986年から「京都現代写真作家展」を同展実行委員会と共催で、隔年で開催しています。写真のもつ意味や独自性、創造性を生かした表現に挑み、現代に発信しようとする展覧会です。

第17回展では、一次審査で入選した約160点の公募作品(京都を中心に活動している写真作家の作品)を展示します。ギャラリートークや対談、府内高校生の優秀作品の展示・講評も実施し、より多くの方に多様な写真芸術の魅力に触れ、写真を通じた交流の機会としていただくことを目指します。

主催一京都府/京都現代写真作家展実行委員会

後援一京都新聞/朝日新聞京都総局/毎日新聞京都支局/読売新聞京都総局/産経新聞社京都総局/日本経済新聞社京都支社/

京都リビング新聞社/NHK京都放送局/KBS京都/エフエム京都/PHOTO PARTNER KYOTO(京都府写真材料商業組合)/

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

協力一文化庁 地域文化創生本部

第17回京都現代写真作家展実行委員会・審査員

(実行委員) 梶川由紀/亀村俊二/神崎順一/北奥耕一郎/佐藤敏二/佐藤博一/竹内万里子/森岡誠

(顧問) 木村晃造/木村尚達/小林賢司 (ゲスト審査員) 植田憲司

お問い合わせ先=京都府文化スポーツ部文化芸術課

(第17回京都現代写真作家展実行委員会事務局)

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL: (075) 414-4231 FAX: (075) 414-4223

メール: [bungei@pref.kyoto.lg.jp](mailto:bungei@pref.kyoto.lg.jp)



# 写真の話、

2019年12月14日(土) 10:30~12:00

京都文化博物館 3階フィルムシアター

入場無料 定員170名(当日先着順/整理券制)

※整理券は当日10時から3階エレベーターホール及び5階展示会場受付で配布します。

第17回京都現代写真作家展の開催に合わせて、写真家の吉田亮人氏を迎え、何必館・京都現代美術館キュレーターの梶川由紀氏と記念対談を行います。写真に携わる両氏が、写真を「撮る」「見せる」「見る」を軸に、古今東西の写真家の足跡や捉え方、写真家の資質、その表現について、両者の知見と経験を元にたっぷりお届けいたします。

# しませんか？

写真家 対談 キュレーター

## 吉田亮人 × 梶川由紀

- 僕が写真家になろうと思ったこと。
- 「ぼぼ日刊イトイ新聞」連載のこと。
- 「The Absence of two」のこと。

- ロバート・フランクってどんな人？
- アンリ・カルティエ・ブレッソンって？
- アラーキーとの仕事



八木夕菜

### 吉田亮人 (よしだ あきひと) Akihito Yoshida

1980年宮崎県生まれ、京都市在住。滋賀大学教育学部障害児学科卒業後、タイにて日本語教師として現地の大学に一年間勤務、帰国後、小学校教員として6年間勤務し、退職。2010年よりフリーの写真家として活動開始。雑誌、広告を中心に活動しながら、作品制作を行う。写真集に「Brick Yard」「Tannery」「The Absence of two」(青幻舎 2019) (Editions Xavier Barral 2019) などがある。KYOTOGRAPHIE メインプログラム展示(2017) NATIONAL GEOGRAPHIC 写真集 2015 ビール部門最優秀賞、第14回京都現代写真作家展審査員賞(梶川由紀選)など、受賞や国内外の展示多数。

### 梶川由紀 (かじかわ ゆき) Yuki Kajikawa

何必館・京都現代美術館キュレーター。

パリ、ヨーロッパ写真館(MEP) 設立準備に日本人キュレーターとして携わる。帰国後、何必館・京都現代美術館キュレーターとして写真部門を立ち上げ、現在にいたる。アンリ・カルティエ・ブレッソン、サラ・ムーン、ウィリー・ロニス、荒木経惟、木村伊兵衛、藤原新也、渡辺謙人、マーク・リプラー、エリオット・アーウィットなど国内外の写真家のコレクションを実現し、展覧会企画をまとめる。写真集編集、執筆活動も行う。Canon「SHINES」審査員。京都生まれ、京都育ち、京都在住。